

2019年度 事業報告

(2019年6月1日～2020年5月31日まで)

特定非営利活動法人 子ども・人権ネット

I 概要

CAP・にいがたは設立23年目を迎え、行政からの委託事業の継続でCAPワークショップを実施しており、これまでの積み重ねの上に社会的な信頼を得ている。

また、学校以外の場においてもCAPおとなワークショップ(研修)の依頼があり、子どもの人権尊重、子どもへの暴力防止分野については高い評価を得ている。

今年度も「ドコモ市民活動団体助成事業」を受託し、CAPプログラムの効果について専門家と共に考察した。より多くの人たちに「子どもへの暴力防止」のCAPの活動を知ってもらい、支援者になってもらうために、HP(ホームページ)をリニューアルした。

ハイライトは以下の3点

- 1)HP(ホームページ)のリニューアル。
- 2)新潟市立西特別支援学校でのSNP(知的障がいのある子どもへのCAPプログラム)実施。
- 3)2019年度ドコモ市民活動助成事業を受託。新発田市「いじめ防止事業(2年目)」で実施した19小学校、9中学校(1中学校はコロナウイルス感染拡大防止に伴い学校が休校となり中止)の、①子どもワークショップ直前アンケート、実施直後アンケートの分析による「いじめ防止 CAP 白書」の作成に取り組む。②「いじめ防止 CAP 白書」報告シンポジウムの開催予定(2020年8月)。

1. CAPプログラム実施への取り組み(2019年4月1日～2020年3月31日の実績)

- ① 実施数218ワーク、前年度比100%であった。保育園子どもワークショップは27回、前年度比100%、小学校子どもワークショップは50回、前年度比111.1%、中学校子どもワークショップは28回、前年度比96.6%である。コロナウイルス感染拡大防止に伴う休校措置等により12ワークが中止となった。
- ② 学校以外の場でのCAPおとなワークショップを実施した。2019年度は以下の場所で実施した。
新潟地方法務局人権擁護委員研修・新潟市園長会・アルザフォーラム2019・新潟県民生委員児童委員協議会児童委員研修(2回)・上越市男女共同参画推進センター講座・新潟ろうきん福祉財団「ワーク&ライフフォーラム」・新潟市放課後児童クラブ指導員研修・公開おとなワークショップ(村上市(2)、小千谷市(2)、新発田市(1)、南魚沼市(1))
- ③ 児童養護施設天使園(新潟市西区)で、子どもワークショップと職員ワークショップを実施。
- ④ 新潟市立西特別支援学校でのSNPの実施。トレーナ木村里美さんを招聘し中学2年生にSNPを実施した。

2. 委託事業

- ① 新潟市こども政策課「保育園・幼稚園におけるCAPワークショップ実施事業」は18年目となる。
諏訪木保育園・坂井保育園・かやま保育園・坂井輪保育園・木崎保育園・新津東保育園・大鷲保育園・小鳥の森子ども園の8園で実施。来年度も継続予定。
- ② 新潟市東区健康福祉課「特色ある区づくり事業」は10年目をむかえた。東区全12小学校を3年間で実施する4年で2巡目となる。東山の下小学校・牡丹山小学校・南中野山小学校・大形小学校で実施。来年度も継続予定。
- ③ 新発田市「いじめ防止事業」2年目となる。
19小学校5年生・教職員・保護者、9中学校1年生・教職員・保護者(1中学校はコロナウイルス感染拡大防止に伴い学校が休校となり中止)に実施。来年度も継続予定。
- ④ 新潟県「令和元年度DV予防啓発総合強化発事業」5年目となる。
デートDV予防のための中学3年生への人権教育:新発田市立豊浦中学校(1クラス)、加治川中学校(1クラス+1は夢基金)、第一中学校(2クラス+2は夢基金)で実施。
デートDV予防のためのCAP公開おとなワークショップ:南魚沼市、小千谷市、村上市で実施。

3. 助成金・基金・寄付による取り組み

- ① 2019年度「ドコモ市民活動団体助成事業」(ハイライト.3)
- ② 2019年度「子どもの安心・自信・自由を守る基金」(ハイライト.1)
- ③ 「CAP・にいがた子ども幸せ夢基金」:子どもたちへのワークショップ実施のため2015年度設立。

＊2019年度の利用状況

2 小学校、2 中学校で基金を利用し実施した。

新潟市白井小学校・村上市立金屋小学校・新発田市立加治川中学校(3 年 1 クラス)・新発田市立第一中学校(3 年 2 クラス)

【プログラム実施についての課題】

- ・CAPプログラム実施においては、行政からの委託事業、助成金、「CAP・にいがた子ども幸せ夢基金」でのプログラムの提供が大半を占めるため、継続のため全てにおいて質の高いワークショップを実施すること、多くのメンバーがワークに参加すること、一人ひとりができる役割を増やすためのグループ内研修は必須となる。
- ・新たな委託先を増やすために、県内の市町村教育委員会への広報・ロビイングは急務である。
- ・学校独自での取り組みが増えるよう、いじめ防止や人権教育である CAP プログラムの有効性を積極的に学校に働きかけるためのいっそうの工夫が必要となる。

4. CAP プログラムの広報

- ① CAP・にいがたの HP(ホームページ)をリニューアルし、よりわかりやすく、10 代の若者にも CAP の情報を提供できるようにした。(2020 年 1 月からリニューアル)
- ② 「CAP・にいがた通信 No24 号」1000 部を有効に活用し、その配布により CAP・にいがたの活動の周知と広報を図った。(トピックスは新発田市委託事業)
「CAP・にいがた通信 No25 号」1000 部は 2020 年度の広報に活用する。(トピックスは SNS 世代とつきあう)
- ③ 新発田のイオンにて、毎月 11 日の黄色いレシートキャンペーンに参加 CAP の PR をした。

【課題】

- ・リニューアルした HP の有効活用。(毎月の CAP・にいがたのワークショップ実施状況など情報の更新)
- ・FB の活用についても検討していく。

5. 啓発事業

- ① 公開おとなワークショップ開催
- ② 「いじめ防止 CAP 白書」の作成、シンポジウム(8 月予定)

【課題】

- ・「いじめ防止 CAP 白書」を活用した教育委員会へのロビイングの実施。
- ・啓発事業は NPO 法人である当会の重要な事業である。今こそ求められている社会の課題である DV と児童虐待防止について CAP の視点で発信していくことが急務となる。
- ・若い親への虐待防止啓発事業として「ママカフェ」の普及に力を入れたい。

6. ネットワーク

- ① J-CAPTA の総会(札幌)に参加(5 人)。フィンケルホー記念研修会(柏市)に参加(4 人)。
- ② 中部ブロック(富山県、石川県、長野県、新潟県)会議の参加(4 人)。11 月 3 日長野市。
- ③ ドコモ市民活動団体助成事業中間報告会に参加(1 人)。2 月 28 日東京。
- ④ 新潟ろうきん福祉財団「ワーク&ライフフォーラム」に公開ワークショップを実施した。
- ⑤ 新潟 NPO 協会発行の冊子「死ぬな！8」に活動掲載。

【課題】

県内グループである CAP・じょうえつとは、県内での CAP の広がりのためにもワークショップを共同で実施できるよう練習の機会を設け研鑽を積む。

II 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
子どもへの暴力防止全般の研修事業	・シンポジウム「思春期の子ども自殺を防ぐ～CAPによる生きる支援」	6月22日	新潟市	10人	教育関係者、小児科医他 40人	144
CAPプログラムの普及事業	・子どもプログラムの提供 ・保護者プログラムの提供 ・教職員・専門職・行政職向けワークショップの提供 ・CAP児童養護施設プログラムの提供 ・特別支援学校プログラムの提供	4月～3月 7月 12月	新潟県内の保育園・幼稚園・小学校・中学校・公民館など 新潟県内の児童養護施設 新潟市内の特別支援学校	・2・3人×105回 ・2・3人×61回 ・3人×49回 ・3人×1施設 ・6人×1校	保育園児・幼稚園児・小学生・中学生・高校生 2400人 保護者、地域の人 922人 教職員・専門職 1447人 養護施設児童・施設職員 特別支援学校児童・教職員	3,448
情報交換・連携のための事業	・関係機関との連携(ロビイング活動) ・CAP中部ブロック会議	随時 11月	新潟県内 長野県長野市	・7人 ・4人	行政など 100人 県内外のCAPグループ 7グループ	0
一般市民への広報・啓発事業	・外向け通信発行 ・HP作成 ・公開ワークショップ ・「いじめ防止CAP白書」の作成	2019年7月 2020年3月 2020年1月 リニューアル 11月～12月 9月～5月	新潟県内 全国 新発田市・村上市・小千谷市・南魚沼市 新潟市	・5人×1回 ・3人 ・3人×6回 ・9人×3回	賛助会員・CAPに関心のある人 他 1000人 CAPに関心のある人 多数 50人	740
その他の事業	・内部研修 ・メンバー向け通信発行	7月～3月 11月、3月	新潟市内 新潟市内	・11人×3回 ・10人×2回	CAPスペシャリスト 延べ33人 CAPスペシャリスト 延べ40人	60